

# PSC会員紹介⑤ 社会福祉法人 ゆめネット

昨年リニューアルオープンしたカフェ・アイリスを運営している、社会福祉法人 ゆめネットを紹介します。

私たちは「あなたらしく、私らしく」を合言葉に、障害のある人の仕事や暮らしのサポートをしている社会福祉法人ゆめネットです。皆さんが会社に行っているように、ここに知的障害のある人達が通い、仕事や様々な活動に取り組んでいます。

私たちの施設にはパン、弁当、軽作業部門などありますが、最も利用者さんから人気が高く、働きたい!! と憧れの場所でもあるのが「カフェ・アイリス」です。

カフェ・アイリスはPSCさんとの縁から実現した働く場で、三井住友海上名古屋ビル1階にある企業内カフェです。国際センター駅から徒歩すぐの、街の真ん中に位置しています。

障害のある人達が地下鉄に乗ってそこまで行けるか、人ごみに緊張してしまうのでは…施設としては心配もありましたが全くの杞憂でした。障害のある方々にとって名古屋の街の中で働くのはひとつの誇りであり、喜びでもあり、混み合った地下鉄に乗って通うこ



とはむしろよい刺激なのです。

私たち福祉職は、主役たる障害者本人のサポート役であるはずなのに、知らず知らず彼ら彼女らを過保護にし可能性を狭めてしまいがちです。「あなたらしく、私らしく」あるために、しっかり守るセーフティネットをつくったうえで、どんどん自分にチャレンジできる環境を提供することが大切です。私たちはそんなサポート役でありたいと考えています。(ゆめネット 鷹巣孝久)



### 団体データ

名称	社会福祉法人ゆめネット
住所	〒454-0869 名古屋市千種区荒子2丁目60番地荒子ビル2F
連絡先	Tel052-354-5826 Fax052-304-8925
ホームページ	http://www.yumenet-koara.jp/
利用者数	37名
職員パート数	29名
実施事業	生活介護 就労継続支援 短期入所 居宅介護 移動支援 など



## PSC PICK UP! ピックアップ

ご案内 入場無料 残席わずか!

### 「子育て支援協働フォーラム」を開催します!

子ども子育てを取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、地域における子育て支援の担い手として活動する子育て支援NPOには大きな期待が寄せられています。子育て支援分野においても、行政とNPOの連携・協働の一層の推進を図ることが急務とされ、今回愛知県委託事業「子育て支援NPO人材養成等事業」を行ってきました。本フォーラムの第1部では「協働マッチング交流会」と題し、県内でNPOと行政とが協働している子育て支援の実情と今後の可能性について意見交換を行い、参加者同士の交流を図ります。第2部では『声に出して読みたい日本語』をはじめとする各種メディアでも活躍中の齋藤孝氏による基調講演。子育て支援などの地域活動や、NPOと行政との協働推進に不可欠なコミュニケーション力について、お話いただけます。(水野)

開催日：2011年3月10日(木)  
場所：愛知芸術文化センター  
内容：第1部 13:00~14:50 12階アートスペースE、F 協働マッチング交流会(ご好評につき定員になりました)  
第2部 15:00~16:10 12階アートスペースA 基調講演「大切なことを伝える力」 講師：齋藤孝氏(明治大学文学部教授)



## 募集 PSCで私たちと活動しませんか?

### ボランティア大募集

PSC事務局にて、スタッフの仕事のお手伝いをして下さるボランティアを募集しています。

ボランティアの作業内容は、資料整理、広報誌発送作業(本紙)、各種事業の事務やイベントの手伝い、ホームページ更新、労務や会計など。

空いた時間を利用して、私たちと活動しませんか?

個性的で元気なスタッフが、心よりお待ちしております!!

詳細は、PSC事務局までおたずねください。

※TEL 052-762-0401



### 事務局だより

この冬は名古屋でも雪の積もる日があり、厳しい寒さが続きました。ようやく日差しが温かさを感じるようになりましたが、みなさまお変わりなくお過ごしでしょうか。PSCでは2月初旬に「社会的事業コーディネーター養成科」がスタート。初々しい受講生のみなさんを迎え、早くも春本番のような雰囲気になっていきます。新年度へ向けての事業の準備も着々と進み、パートナーシップ大賞の第8回開催も決定しました。これまで以上に充実した内容にし、皆さまに感動をお届けできるよう、事務局一同頑張っております。「パートナーシップ大賞」の募集開始は6月上旬の予定です。みなさま、今からぜひご準備を!

(木内)



# PSC Report

パートナーシップ・サポートセンター Vol.76

発行 特定非営利活動法人 パートナーシップ・サポートセンター(PSC)  
〒464-0067 名古屋市千種区池下1丁目11番21号  
ファースト池下ビル4F  
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407  
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp  
発行人・岸田真代

NPO PSC 企業 行政

## 中小企業の活力向上・経営改善はステークホルダー・ダイアログで!

昨年7月よりスタートした「ステークホルダー・ダイアログ(SHD)による中小企業の活力向上」事業は、3社の協働企業ともに順調に進み、ダイアログの最後であるマルチSHDを、太陽電化工業㈱は1月19日、南部薬品㈱は1月28日、桃の館が2月4日に実施しました。

ダイアログの進行役であるファシリテーターが三者三様のノウハウを駆使し、見事に、経営課題抽出までまとめ上げることができました。

各社の経営者・従業員からは、「様々な方々の意見を

聞くのは新鮮で、固定観念から解放されました」と異口同音に述べられています。社内では相当に刺激となった様子で、既に各職場で変化の兆しが見え始めているようです。

3月の事業終了までに、「『経営の課題解決』のための提案」をまとめて協働企業に提出します。各企業は、その提案に基づきトップ・従業員が理解を深め、行動を起こしていくこととなります。もちろんPSCはそのフォローをし、CSRの推進とNPOとの協働をバックアップしていきます。(岡田)



▲太陽電化工業



▲桃の館



▲南部薬品

## 職業訓練 第2弾 (中央職業能力開発協会 委託事業)

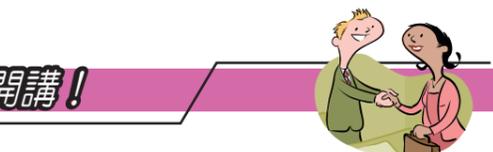
### 「社会的事業コーディネーター養成科」開講!

地域に役立つ仕事、あなたも「やってみたい」と思いませんか。昨年10月に終了した「社会的事業者育成科」に続き、2月7日、職業訓練「社会的事業コーディネーター養成科」がスタートしました。

社会的事業(NPO含む)分野において「コーディネーター」の存在は、欠かせないものになりつつあります。こうしたニーズの高まりにこたえるべく、本講座では「社会的事業分野での自立(起業含む)」「コーディネート・スキルが活かせる職場への就労」を修了後の主な目標としています。

定員の20名を超える応募がありましたが、選考の結果、受講生は19名となりました。入校日は「自己紹介と仲間づくり」と題して、「これまでにどんなことをやってきたか」「これからどうしたいのか」などを含めた自己紹介をしました。今回も個性溢れるメンバーが集まってきました。これから8月まで半年間の講座を経て、皆さんがどう変わっていくのか、今後の展開が楽しみです。

それぞれの想いがカタチになるように、事務局としてしっかりとサポートしていきたいと思ひます。(松橋)



# PSC 主な活動2011年1月～2月

- 1/5(水) 仕事始め
- 1/6(木) 社会的事業コーディネーター養成科・一次募集締切
- 1/7(金) 社会的事業コーディネーター養成科・一次選考、第14回PSC新春合宿(～8日)
- 1/8(土) 第4回PSC理事会
- 1/11(火) 国交省ヒアリング
- 1/12(水) 大和ハウス・JAEコンサル(大阪)③
- 1/13(木) 協働事業模擬仕分けWS(北名古屋市)④
- 1/14(金) 名古屋来所、桃の館SHD(第3回)
- 1/17(月) 保養所月例経営会議、愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」第2作業部会
- 1/18(火) なごや環境大学幹事会、名古屋市総務局(議員報酬委員会)
- 1/19(水) 太陽電化工業SHD(第4回)、カフェ・アイリス運営会議
- 1/20(木) シニアボランティア会議
- 1/21(金) 協働事業模擬仕分けWS(西尾市)④
- 1/22(土) インキュベクス講演(横浜)
- 1/24(月) 保養所研修、社会的事業コーディネーター養成科・二次募集締切
- 1/25(火) 中部経済産業局フォーラム(パネリスト)
- 1/26(水) 社会的事業コーディネーター養成科・二次選考、子育て支援NPO個別相談会(豊田市)②、大阪ガス来所(取材)
- 1/27(木) 名古屋市交通問題調査会二次選考委員会、三井物産環境基金交流会(東京、～28日)
- 1/28(金) 南部薬品SHD(第4回)
- 1/29(土) パートナースシップ大賞運営委員会
- 1/31(月) 中日新聞取材、PSC新春交流会
- 2/2(水) 緑化基金運営委員会
- 2/3(木) 三井物産SHD(SHとして)
- 2/4(金) 桃の館SHD(第4回)
- 2/7(月) 社会的事業コーディネーター養成科(～8/5)入校式、子育て支援NPO個別相談会(岩倉市)②、子育て支援NPO個別相談会(東海市)②
- 2/9(水) 保養所月例経営会議
- 2/14(月) 愛知県NPOと企業の協働に関する検討会議
- 2/15(火) あいち未来塾運営委員会、
- 2/16(水) 「子育て支援協働フォーラム」パネリスト説明会
- 2/17(木) 愛知県・あいち協働ルールブック推進フォーラム「NPO協働事例調査」報告①、シニアボランティア会議、明治大学塚本ゼミ(講義)、NPOと行政フォーラム(横浜)カフェ・アイリス運営会議、「新しい公共支援事業」意見交換会、「地域円卓会議 in 茨城」(参観)
- 2/18(金) 子育て支援NPO個別相談会(岩倉市)②
- 2/21(月) 埼玉県「NPOと企業の協働フォーラム」講演
- 2/22(火) 尾張旭市職員NPO基礎研修
- 2/24(木) 福井市協働セミナー講演、あいちモリコロ基金公開審査
- 2/26(土) 保養所研修
- 2/28(月)

## 1 NPO協働事例調査

### 協働のニーズや課題が明らか！！

愛知県内の企業や市町村を対象に実施した「NPO協働事例調査」が完了し、それぞれ報告書を作成しました。

調査から見てきたこと-NPOと企業の協働では、NPO等と関わりのある企業が約6割を占め、その関わりは中小企業にも拡大。社会的責任や地域貢献はもちろん人材育成など、企業がNPOとの関わりを積極的に活用する意向が高まっており、ヒアリング調査からも、NPO、企業それぞれの具体的なニーズが浮かび上がりました。

また、NPOと行政の協働では、約8割の市町村で協働事業が実施されているものの、そのあり様は市町村により大きな違いがありました。協働の促進には、協働によって何をめざすかを示すビジョンや具体的な進行計画の作成、NPO、行政ともに提案力を向上することなどが課題として見えてきました。報告書の内容は、あいちNPO交流プラザのサイトに公開される予定です。(下平)



## 2 子育て支援NPO個別相談

### 団体運営、会計などNPOの悩みを解決！

昨年11月から行っている愛知県委託事業「子育て支援NPO人材養成等事業」。子育て支援NPO立ち上げ支援講座、スキルアップ研修に引き続いて、講座開催市において個別相談会を行いました。日々の活動の中で疑問に思っていることや、団体運営、会計業務の悩みなど、専門のスタッフによる相談会を開きました。

この事業はNPO法人あいち・子どもNPOセンターとPSCによる共同事業体「あいち・子育て支援NPO人材養成サポート共同事業体」で実施。(水野)

※実施会場は以下の通りです。

- ・とよた市民活動センター 1月26日、27日、2月4日、9日
- ・東海市しあわせ村保健福祉センター 2月3日、9日、14日、16日
- ・岩倉市子育て支援センター 2月7日、14日、21日、28日



岩倉市子育て支援センター▲

## 3 協働コンサルティング

### ～「パートナーシップ大賞」応募企業とNPOからコンサル依頼～

1月12日(水)、「第7回パートナーシップ大賞」に応募してくれた企業とNPOのコンサルティングに、大阪を訪問しました。「パートナーシップ大賞」事業で、直接先方からの依頼を受けてコンサルを行うのは初めてのことです。

大阪駅前にある大手企業の本社の会議室に、企業側から5名、NPO側からは6名の計11名が集まりました。双方の協働事業の取り組みのプレゼンの後、岸田からコメントするという形で進みました。コンサルティングの内容は、事業のどこを改善すればよくなるのか、なぜ書類審査を通過しなかったのか、などを審査の視点とデータをもとに説明しました。

その結果、企業側もNPO側も、なぜ書類審査で落ちたのか、十分納得していただけたばかりでなく、「パートナーシップ大賞」の深い意義までしっかり理解していただけたという副次効果までつき、パートナーシップ・サポートセンター(PSC)にとっても「パートナーシップ大賞」の次なる展開へ大きな一歩を踏み出す自信となりました。

最後は企業もNPOも、「書類の書き方というよりは、やはり取り組みの内容次第なのですね」と目を輝かせてくれました。(岸田)

「第8回パートナーシップ大賞」募集開始は、6月初旬を予定しています。NPOと企業の協働事業に取り組むみなさん、ぜひご準備を！！

また、「第7回パートナーシップ大賞 事例集」今秋発行予定！ご期待ください！！

### 「第8回パートナーシップ大賞」6月募集開始！

「第8回パートナーシップ大賞」募集開始は、6月初旬を予定しています。NPOと企業の協働事業に取り組むみなさん、ぜひご準備を！！

また、「第7回パートナーシップ大賞 事例集」今秋発行予定！ご期待ください！！

雑誌に掲載されました！『オルタナ』2月号の特集記事「企業×NPOベストカップル」の中で、パートナーシップ大賞の意義や入賞事例を紹介していただきました！

## 4 協働事業模擬仕分けワークショップ(愛知県委託事業)

### 北名古屋市会場95名、西尾市会場110名の参加を得て開催

2010年度の協働事業模擬仕分けワークショップは、昨年度の実績を踏まえ、県内各市町での実施に向けて一歩踏み出すため、モデル市町を設定して開催。仕分け対象事業の掘り起こしから開催当日に至るマネジメントまでを体験してもらおうとの趣旨で取り組んできました。特筆すべきはモデル市町として名乗りを挙げていただいた開催市の多大なるご協力。1月13日(北名古屋市)と21日(西尾市)、当初の目標を大きく上回る規模で開催することができました。

今回の目標のひとつに掲げていた、協働担当課以外の、実際に各事業を担っている部署の職員の方の参加拡大についても、両会場で述べ90名にも上るなど、これまた予想以上の成果となりました。しかも「(継続ありきで事業に取り組むのではなく)事業の目的を見直すことから始める必要を感じた」「行政職員一人ひとりが協働のプロモーターとなるべく、事業の担当課と協働担当課が協力していくよう努めたい」といった積極的な意見をいただけたことに手応えを感じています。

昨年同様メインの講師・コーディネーターを務めていただいた滋賀大特任教授の石井氏が、本年度ワークショップのまとめとして、来年度にも「模擬」の字が消えた協働事業仕分けが実際にひとつでも実現するようにと語っていましたが、それが着火剤となって県内に協働事業仕分けが広がっていきそうな気配も感じました。(村田)



西尾市(1月21日)



北名古屋市(1月13日)

参加者のコメントから～

NPO参加者：いろいろな市町の情報に触れたり、事業の担当者の方の意見が直接聞けたりというのは、よりよい地域づくりに役立つと思います。内容も面白く、いい経験ができました。

行政参加者：事業担当の職員はもちろん、後方で見えていたその他の市職員の目の色が変わったことに、研修効果を感じました。

北名古屋市職員：今回の研修で取り上げた3事業を今後進めていく上での課題が具体化され、大変有意義でした。

## PSC代表岸田の“東へ西へ”(2011年1月2月)

1/5(水)の仕事始め早々かかってきたのは、パナソニックからの「今年はパートナーシップ大賞、やりますか？」という電話であった。「パートナーシップ大賞が、これほどまでに待たれている、しかもこうした大手企業に」という率直な驚きであった。恒例の1/7(金)～8(土)に行われたPSC新春合宿は、今年で14回を数えるにいった。これもPSCの歴史を物語るもので、感慨深い。1/11(火)には国交省からのヒアリング。そして1/12(水)は「パートナーシップ大賞」応募団体と企業から「なぜ書類審査で落ちたのか」を知りたいという依頼で、大阪へコンサルティングに(別項参照)。結果は大成功！協働のコンサルティングがいかにか有効かを改めて実感することとなった。

協働事業模擬仕分けワークショップはいよいよ本番。1/13(木)には北名古屋市、1/21(金)には西尾市で、昨年より一歩具体的に進めて実施した(別項参照)。多くの参加者注視の中、協働事業を引き出すべく議論が展開された。また本年度の新規事業である中小企業対象事業も大詰めを迎え、マルチ・ステークホルダー・ダイアログを3社で展開。1/19(水)太陽電化工業(名古屋市)、1/28(金)南部薬品(岡崎市)、2/4(金)桃の館(北名古屋市)と続いた(別項参照)。愛知県の担当者も、この事業の成果に満足しているのではないだろうか。大詰めを迎えているのは保養所(伊良湖)も同じ。今年度で3年間関わった私たちの担当に区切りをつけるべく、当事者が自分たちで展開できるよう、月例の経営会議1/17(月)・2/14(月)、研修1/24(月)・2/28

(月)の進行を、徐々に現場の担当者に移行し始めた。厳しい状況が続く中で、少なくとも昨年よりは利用者が増加し、さらに全員が接遇サービス検定に合格したのは大きな成果だ。

1/22(土)は横浜の企業で講演。1/25(火)には中部経済産業局主催のフォーラムにパネリストとして参加。1/26(水)には大阪ガス発行の雑誌の取材があり、1/29(土)には「第8回」に向けてパートナーシップ大賞運営委員会を開催。1/31(月)は中日新聞の取材とPSC新春交流会(写真参照)。



▲PSC新春交流会では40人が参加自己紹介や自由交流に大盛り上がり

2/3(木)は三井物産のステークホルダー・ダイアログに出席し、2/7(月)は「社会的事業コーディネーター養成科」の入校式。2/17(木)は急きょ依頼のあった明治大学塚本ゼミで講義し、午後からは横浜で開催された「NPOと行政の対話フォーラム」に参加。翌2/18(金)は「新しい公共」に関する意見交換会に参加し、午後から茨城県水戸市で行われた「地域円卓会議」を参観。2/22(火)は埼玉県主催の「NPOと企業の協働フォーラム」で講演。130名を優に超す企業・NPOの参加者たちの新鮮な反応に、用意していた名刺はあっという間になくなった。2/26(土)は福井市での協働セミナーで講演の予定。越前蟹が食べられるかな？(2.23岸田真代)